

資料1 新たに情報化統括責任者補佐（CIO補佐）を任用します

新型コロナウイルス感染症の拡大をきっかけに生活環境が大きく変化する中、地方自治体においても「新たな日常」に対応するため、行政のデジタル化を推進することが求められています。

また、誰もが快適で活気に満ちた質の高い生活を送ることができる社会「Society 5.0」の実現に向け、IoTやロボット、AI等の新たな情報通信技術を活用していくことが重要となっています。

このことから、本市においてもDX推進体制を整備し、民間から専門的な知識・経験を持つ人材をCIO補佐として任用します。

1 情報化統括責任者補佐（CIO補佐）

(1) 氏名 揚原 安麿（あげはら やすまろ）

(2) プロフィール

1963年 福井県鯖江市生まれ（57歳）

1987年 東京大学工学部都市工学科卒

※3年9カ月、富山で勤務

2019年～株式会社日本地域会社会研究所 代表取締役

- ・大学時代、サークルでIT、専門課程で都市工学を学び、職歴としてはIT関連・専門商社などを経験する。
- ・現職ではベンチャー企業の育成や活動支援、企業・団体の経営顧問などを行っているほか、地方自治体からの依頼により、スーパーシティ、地方都市の交通問題、高齢者の在宅支援、新しいワークスタイルなどに実践型として取り組んでいる。

(3) 任期 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

※地方公務員法（昭和25年法律第261号）第3条第3項第3号に規定する
非常勤特別職

2 期待される役割

これまでのIoT利活用実証事業に加えて、今後新たなデジタル技術を福祉や医療、交通、産業、地域社会などに活用した地域DXの推進に向けた取組やポストコロナの新しい時代に対応できる職員の育成など、市民サービスの充実や利便性の向上を図るため、専門的な立場から指導・助言をいただく。

3 今後の予定

4月に設置するDX推進本部及びDX推進検討会において、優先的に取組む事業やその具体的な対応策等について協議・検討していく。